

仙台塩釜港（仙台港区）大型旅客船入出港要領

令和 7 年 7 月改定

仙台塩釜港 港湾管理者

仙台塩釜港(仙台港区)大型旅客船入出港要領

1. 本要領の趣旨

本要領は、仙台塩釜港仙台港区(以下「仙台港区」という)に入出港する大型旅客船の航行及び係留時の安全を図るため、守るべき基本事項を取りまとめたものである。

2. 大型旅客船の受入れについて

大型旅客船の受入れの際には、別表1に示す受入れ条件のうち入出港する対象船舶の直近上位の条件を遵守すること。受入れ条件に示す船型の主要目については、別表2を参照のこと。

3. 大型旅客船入出港協議について

船舶代理店(以下「代理店」)は、様式1により、船舶主要目を記載の上、港湾管理者へ協議すること。港湾管理者は、協議内容を審査の上で意見を付し、港長及び水先人に対し情報を共有すること。港長及び水先人より意見が付された場合はその意見とともに、港湾管理者より申請者に対し条件として様式1により回答するものとする。

また、申請予定船舶が別表2に示す「14 万総トン級」の規格を超える場合は個別に入出港条件を確認が必要となる場合があるため、代理店等は早めに港湾管理者に相談・確認すること。

4. 入出港前調整について

【事前の対応】

- (1) 本船は、代理店に対し、バース予約の調整を確実にを行うために入出港時刻等の必要な情報を通知すること。代理店は港湾管理者に対して使用許可申請等の手続きを行うとともに、港湾管理者が開催するバース調整会議で他の船舶との利用調整を行うこと。
- (2) 港湾管理者は、他船との行き会いを防止するため、水域利用者に対し、本船の運行スケジュールをバース調整会議や電子メール等を用い周知をすること。
- (3) 本船は、他船との行き会いを防止するため、運航スケジュールの遵守に努めること。やむを得ず変更が生じる場合、事前に代理店を通じて関係者(水先人等)に対し、変更情報の周知をすること。また、着岸舷の変更が生じる場合も、前日までに周知すること。

- (4) 港湾管理者及び代理店は、本船の着岸位置、着岸舷を考慮し、アンローダーを安全な位置に移動・駐機するよう関係者へ周知を行うこと。

また、9 万総トン級、14 万総トン級大型旅客船は、係留に直柱を使用することが望ましいことから、係留索との干渉を考慮すること。

【当日の対応】

- (1) 本船は、入出港予定時刻など事前に通知した事項に変更がある場合、直ちに連絡体系図に基づき連絡を行うこと。また、連絡を受けた代理店も関係者(水先人等)に対し、周知すること。

- (2) 本船は、気象等の状況により寄港が困難と判断した場合、直ちに連絡体系図に基づき連絡を行うこと。また、連絡を受けた代理店も関係者(水先人等)に対し、周知すること。

5. 対象岸壁について

係留岸壁は中野 1 号岸壁および高松2号岸壁を対象とする。

岸壁諸元に関しては別表 3 を参照のこと。

6. その他

本基準のほか、関係法令及び仙台塩釜港仙台港区船舶安全利用基準(令和5年2月8日改正)を遵守すること。

令和5年9月 制定
令和6年3月 改定
令和7年7月 改定
仙台塩釜港 港湾管理者

別表1 大型旅客船受入れ条件

船型	総トン数	5 万総トン級	9 万総トン級	14 万総トン級
	全長	224m	294m	330m
入出港時風速※4		平均風速 10m/sec 以下		
視程		1 マイル以上		
波高		港外波高 1.5m 以下		
余裕水深		10%の余裕水深		
回頭域		高松ふ頭2号岸壁東方の水域※1		
接岸速度		9 cm/sec 以下		8cm/sec 以下
航行支援体制	水先人	乗船		
	曳船※2	3,600 馬力以上:1 隻	3,600 馬力以上:1 隻 平均風速 8m/sec 以上:2 隻	
		夜間出港の場合や水域調整を要する場合に前方警戒船を配置する。		
係船柱 ※3	中野ふ頭 1 号岸壁	船首:300kN 曲柱 1,000kN 曲柱 船尾:1,000kN 曲柱 各 7 本(合計 14 本)	船首:250kN 曲柱 1,500kN 直柱 船尾:300kN 曲柱 1,000kN 曲柱 1,500kN 直柱 各 8 本(合計 16 本)	船首:(中野1号) 300kN 曲柱 1,500kN 直柱 船尾:(高松2号) 1,000kN 曲柱 各 9 本(合計 18 本)
	高松ふ頭 2 号岸壁	船首:1,000kN 曲柱 船尾:1,000kN 曲柱 各 7 本(合計 14 本)		
係留時風速※4		平均風速 10m/sec 以下		
入出港時間 及び水先人乗船時刻 ※5		入出港時間は、原則として、日の出から日没前までとする。 ・ 入港時の水先人乗船時刻は、原則として 6 時 30 分以降とする。 ただし、4 月 1 日から 9 月 30 日までは年間の日の出時刻を考慮し、必要に応じて、5 時 30 分以降とすることができる。また、出港時刻が日没後となる場合には、21 時まで、とすることができる。		
岸壁条件		中野 1 号岸壁はアンローダーが 2 基設置されているため、接岸時には注意が必要		

※1 高砂ふ頭との離隔距離が把握しやすい左回頭とし、高砂ふ頭に接近しないよう、航路筋の北側で回頭すること。回頭域については参考資料 操船シナリオを参照。

※2 仙台港区における曳船は 5 隻のため、気象条件により配隻を増やす場合は前日の 15 時までに手配をすること。本船及び代理店は入出港時に想定される風速条件によっては 2 隻目の曳船手配を水先人と調整・検討するものとする。前方警戒船には VHF や AIS 等を搭載していることを想定している。

※3 係留方法については上記を基本とするが、これにより難しい場合は、本船をはじめ関係者が

協議して適切に配置すること。また、参考資料 係留想定図を参考に係留を行うこと。

※4 本船は、最新の気象・海象の予測情報を踏まえ、別表 1 に示す風速条件について超えることが予想される場合には、その時期に応じた適切な対応をとること。

① 入港前

入港前に、次の各期間において、別表 1 に示す風速条件を超えることが予想される場合には、その時期に応じた適切な対応をとること。

イ) 入港操船中に、別表 1 に示す入出港時風速の条件を超えると予想される場合

ロ) 係留期間中に、別表 1 に示す入出港時風速の条件を超えると予想される場合

ハ) 出港操船中に、別表 1 に示す入出港時風速以下になることが予想されない場合

② 係留期間中

係留期間中に別表 1 に示す係留時風速を超えると予想される場合には、同表に示す入出港時風速の範囲内で出港するように出港時刻の変更等を検討すること。

③ 出港前

出港操船中に別表 1 に示す入出港時風速を超えると予想される場合には、入出港時の風速条件の範囲内で出港するように出港時刻の変更等を検討すること。

※5 入出港時間の考え方は以下のとおりとする。

入出港時間の考え方

- ① 入港時の水先人乗船時刻は、原則として 6 時 30 分以降とする。
(※ 4 / 1 ~ 9 / 30 は年間の日の出時刻を考慮し、必要に応じて 5 時 30 分以降とすることができる。)

【入港開始】

- 通年 : 6:30 以降 水先人乗船・入港開始
— 4月~9月 : 5:30 以降 水先人乗船・入港開始

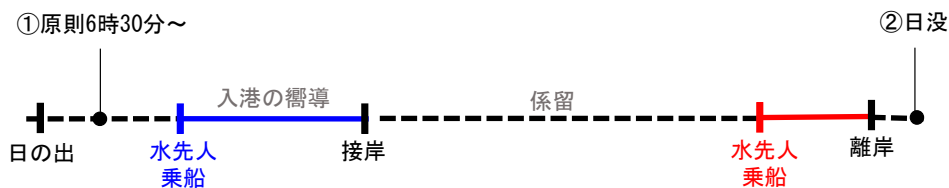
- ② また、出港時刻が日没後となる場合には、21 時までとすることができる。

② 【出港開始】

- 原則 : 日没までに水先人乗船→離岸作業→出港
— 日没後~21:00 までに離岸

◆原則に基づく運用

① 原則 6 時 30 分 ~



◆「年間の日の出時刻を考慮する場合」や「出港時刻が日没後となる場合」の運用

① 4 ~ 9 月は 5 時 30 分 ~



別表2 船舶の主要目

項目	5 万総トン級	9 万総トン級	14 万総トン級
総トン数	55,254GT	90,228GT	142,714GT
全長	223.74m	294.0m	333.0m
垂線間長	197.5m	262.93m	306.00m
型幅	31.0m	32.2m	38.4m
喫水	7.2m	8.3m	8.55m
水面上船体側面投影面積	6,432 m ²	10,250 m ²	13,446 m ²
水面上船体正面投影面積	931 m ²	1,502 m ²	1,720 m ²
推進器 ^(※)	固定ピッチプロペラ × 2 基/2 舵 9,000kW × 2	アジホット × 2 基 CruiseMode 20,600kW × 2 ManeuverMode 10,000kW × 2	固定ピッチプロペラ × 2 基/2 舵 18,000kW × 2
スラスター ^(※)	バウスラスター 1,700kW × 2 基 スタンスラスター 1,700kW × 1 基	バウスラスター 2,350kW × 3 基	バウスラスター 2,500kW × 3 基 スタンスラスター 2,500kW × 3 基

(※) 推進器やスラスターが記載内容に対し付属していない、もしくは著しく機能が低い場合は、曳船の隻数を増やすことを条件とする場合がある。

別表3 岸壁諸元

岸壁名称	水深	延長	対象船舶	バース数
中野ふ頭1号岸壁	-12.0m	240m	40,000DWT	1
高松ふ頭2号岸壁	-14.0m	280m	55,000DWT	1

大型旅客船入出港(協議) 【仙台港区】

仙台港区 Ver2

申請日:

申請者:

○ 諸元が確認できる「パイロットカード」を添付ください
【基礎情報】 太枠内記入願います。

入港日／入港時間	
出港日／出港時間	
船名／船社	
船舶代理店名	
部署／役職／担当者	
連絡先（TEL）	
連絡先（e-mail）	
緊急時連絡先	

【スペック情報】 太枠内記入願います。

適用総トン数	今回船舶		5万総トン級	9万総トン級	14万総トン級
総トン数（GT）			55,254	90,228	142,714
全長（m）			223.74	294	333
垂線間長（m）			197.5	262.93	306
型幅（m）			31	32.2	38.4
喫水（m）			7.2	8.3	8.55
水面上船体側面投影面積（㎡）			6,432	10,250	13,446
水面上船体正面投影面積（㎡）			931	1,502	1,702
推進器	推進器を選択	基	固定ピッチプロペラ 2基	プロペラ 2基 CruiseMode	固定ピッチプロペラ×2基
		kW/基	出力 9,000 kW/基 舵数 2舵	20,600kW/基 ManeuverMode	出力 18,000 kW/基 舵数 2舵
				10,000 kW/基	
スラスター	パウスラスター	基	パウスラスター 2基 出力1,700 kW/基	パウスラスター 3基 2,350 kW/基	パウスラスター 3基 2,500 kW/基
	出力	kW/基	スタンスラスター 1基 1,700 kW/基		スタンスラスター 3基 2,500 kW/基
喫水線を基準としたパイロット乗船口の高さ（m）					

【港湾管理者意見】

受入れ条件		
入出港時風速 ^{※4}		
視程		
波高		
余裕水深		
回頭域		
接岸速度		
航行支援体制	水先入	
	曳船 ^{※2}	
係船柱	中野ふ頭1号岸壁	
	高松ふ頭2号岸壁	
係留時風速 ^{※4}		
入出港時間		
岸壁条件		
その他意見		